

第3学年 音楽科学習指導案

指導過程

学習内容及び活動	指導上の留意点	時間	準備物
1. 自己評価カードに目標を記入する。 ①他のパートにつられずに合唱ができる。 ②「帰れソレントへ」のリズム読みができる。	○目標を書かせることによって、生徒が見通しを持って学習に取り組めるようにする。	5分	
2. 発声練習をする。 ●「アハハハハー」でうたう。 ●「マーマーマーマー」でうたう。	○発声ときにのどの奥まで開いているか、鼻腔に響いているかを確認めさせる。 ○発声をするときに腹筋に力を入れて、声を押し出すように指導する。	10分	シンセサイザー
3. 「ふるさと」の合唱練習をする。 ●ゴスペラーズの歌う「ふるさと」のDVDを鑑賞する。 ●合唱をする。	○生徒が知っているアーティストの演奏を聴かせることで、歌う意欲を高める。 ○間奏の部分をパートごとに音の確認をする。	20分	DVD
4. 「帰れソレントへ」について学習する ●範唱CDを聴く。 ●ソレントの場所を確認する。 ●歌の説明をする。 ・イタリア語(巻き舌)、イタリアの国民性について ・歌詞の内容について	○外国語の歌詞を原語で歌うことを生徒に言うことで、鑑賞する意欲を高める。 ○場所が想像できるように、写真を掲示する。 ○母音がイタリア語と日本語で似ていることを説明する。 ○歌詞の内容から、イタリアの国民性を理解し、生徒が曲に対する興味・関心を高められるようにする。	33分	範唱CD 写真教科書
5. 歌詞(イタリア語)のリズム読みをする。	○巻き舌に注意をさせながら、範唱させる。	38分	
6. メロディをつけて練習する。	○フレーズ(2小節)ごとに区切って何度も範唱させる。	48分	シンセサイザー
7. 自己評価表		50分	

3年 []組 名前[]

1 ソレントの場所はどこでしょう。



2 作詞者[] 作曲者[]

3 イタリア語の特徴

- ・()で発音するところがある。
- ・母音が()と似ている。

4 イタリアの特徴

- ・日本の気候と似ていて、()がある。
- ・イタリア人は()を気にしない人が多いなど、とても()な国民性である。

★イタリアの男性は他の国の男性に比べてかなり()的と言われている。

5 歌詞について

- ・詞の内容は、「()海と()の香るソレントの美しさを歌い、別れを告げる()に、行ってはいけない、私を悲しませないで、帰ってきてソレントへ」と呼びかけるもの。
- ・ソレントは、()湾沿いにある漁村で、非常に風光明媚なところ。曲のほうは、()のようなリズムで静かに始まるが、しだいに()に呼びかけるように高潮していき、()に終わる。

第1学年 音楽科学習指導案

平成19年6月5日(火) 第2校時

第1学年3組(男子 18名、女子 20名)

指導者 上村 真喜子



1 題材 情景と音楽

2 目標

- (1) 情景をイメージしながら意欲的に表現しようとする態度を育てる。(音楽への関心・意欲・態度)
- (2) 歌詞の内容を味わい、曲想の表現や工夫することができる。(音楽的な感受や表現の工夫)
- (3) 曲の構成や曲想記号に気を付けて歌うことができる。(表現の技能)

3 指導観

- 本題材は、歌詞と音楽が結びついていることを理解し、情景をイメージして表現の工夫をすることをねらいとしている。学習指導要領、第1学年の目標では「音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、基礎的な表現の技能を身に付け、創造的に表現する能力を育てる」や表現の内容に「歌詞の内容や曲想を感じ取って、歌唱表現を工夫すること」が掲げられている。今回取り扱う教材「夏の思い出」は日本の自然の情景を表す歌詞であり、親しみ易い曲である。歌詞の美しさを効果的に生かした旋律がついており、強弱や速さを工夫することで様々な表現をすることができる。生徒が、主体的に表現を工夫するような手立てをとっていきたい。
- 本学級の生徒は明るく元気がよく、音楽の授業にも積極的に取り組む姿勢が見られる。歌唱活動では、小学校の段階で柔らかく、美しい発声の仕方を身に付けることができている。しかし、自ら考え、歌唱表現を工夫するには至っていない。また、豊かな自然に恵まれた環境の中で育っているにもかかわらず、ゆっくりと自然の美しさを味わう余裕をもっていない生徒がほとんどである。
- そこで本題材の指導にあたっては、歌詞の内容を味わいながら表現するために、歌詞に出てくる植物や自然の写真などを提示し、興味をもてるようにしたい。また、曲の構成とともに、強弱や速さ、声の質、休符の取り方などを工夫することで、音楽表現をより豊かなものにさせたい。さらに、2部合唱で歌唱し、和声の美しさにも興味をもつことができるようにしたい。

4 指導計画

情景と音楽・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2時間

- (1) 歌詞の意味を理解し、情景を思い浮かべながら歌唱する・・・・・・1時間(本時)
- (2) 2部合唱で歌唱し、音楽表現の工夫ができるようにする・・・・・・1時間

5 本時の学習指導

(1) 目標

- 歌詞の内容を味わい、情景を思い浮かべながら歌唱しよう。

(2) 資料及び準備

教科書、ピアノ、ワークシート、情景の写真、拡大楽譜

(3) 指導過程

学習内容及び学習活動	指導上の留意点	時間
1 夏のイメージについて話し合う。	○ 学習する「夏の思い出」の歌詞に着目できるよう、夏をイメージする言葉を発表する場を設ける。	2分
2 本時の学習内容と目標を確認する。 歌詞の内容を味わい、情景を思い浮かべながら歌唱しよう。	○ 目標を示すことで、本時の学習の見通しを持たせる。	3分
3 「夏の思い出」を歌う。 ○ 発声練習をする。 ○ 夏の思い出の主旋律を歌う。	○ 声の響きに気を付けて歌うことができるように助言する。 ○ 曲の構成が＜AABA'＞であることに気づかせ、音とりを効果的に進める。	15分
4 歌詞の内容を理解する。 ○ 「夏の思い出」の印象を発表する。 ○ 「尾瀬」「水芭蕉」「石楠花色」について知る。 ・ 写真を見る	○ 歌詞や曲想から感じたことを積極的に発表させる。 ○ 実際に写真を見ることで、イメージを、よりふくらませる。	20分
5 歌詞の言葉にふさわしい強弱をつけて表現する効果を話し合う。 ○ グループに分かれ、歌詞の言葉にふさわしい強弱を話し合う。 ○ なぜ、その強弱になるのか理由をつけてグループの考えを発表する。 ○ それぞれ3つの班がつけた強弱を全員で歌ってみる。 ○ 教科書を見て確認し、歌ってみる。	○ 歌詞の情景や曲想の流れを考えて、表現の工夫をさせる。 ○ 表現の工夫を分かち合い、歌詞からの情景や曲想について深めさせる。 ○ 強弱の表現で曲想が変化することに気づかせる。 ○ 作曲者の意図を感じ取るとともに、歌詞の情景を思い浮かべながら、表現させる。	25分 32分 37分 45分
5 評価カードを記入する。	○ 形成的評価で、指導方法の改善に役立てる。	50分

6 板書計画

歌詞の意味を理解し、情景を思い浮かべながら歌唱しよう。

「夏の思い出」

江間章子 作詞

中田喜直 作曲

<夏のイメージ>

<「夏の思い出」の曲の感じ>

写真

拡大楽譜

「夏の思い出」

江間章子作詞

中田喜直作曲

組	番	氏名
---	---	----

1. 夏といえば・・・

--

2. 曲の構成

--	--	--	--

3. 「夏の思い出」の曲の感じ

--

4. 強弱記号

<i>pp</i>		とても弱く
<i>p</i>		弱く
<i>mp</i>		少し弱く
<i>mf</i>		少し強く
<i>f</i>		強く
<i>ff</i>		とても強く
 <i>crescendo</i>		だんだん強く
 <i>decrescendo</i>		だんだん弱く
<i>diminuendo</i> (<i>dim.</i>)		だんだん弱く

教材名「夏の思い出」

の音楽授業の目標・・・

項 目		月 日	月 日
関心・意欲・態度	日本の美しい歌に関心があるか。	◎ ○ △ ×	◎ ○ △ ×
	この曲に応じた発声を身につけようと努力したか。	◎ ○ △ ×	◎ ○ △ ×
	歌詞の内容や曲想を味わうことができたか。	◎ ○ △ ×	◎ ○ △ ×
音楽的感覚や工夫	曲にあった発声を工夫することができたか。	◎ ○ △ ×	◎ ○ △ ×
	曲を特徴付けている諸要素を感じ取ることができたか。	◎ ○ △ ×	◎ ○ △ ×
	情景をイメージしながら表現を工夫することができたか。	◎ ○ △ ×	◎ ○ △ ×
表現の技能	曲にふさわしい発声を身につけることができたか。	◎ ○ △ ×	◎ ○ △ ×
	詩の内容にあった曲想を理解して、この曲にふさわしい表現ができたか。	◎ ○ △ ×	◎ ○ △ ×
感想と課題	感想（授業が終わって書き残そう！） ・今日の授業の初めに立てた自分の目標をこの1時間で実現できたか。 ・授業の内容が理解でき、楽しく活動することができたか。 ・進歩し伸びたと思う点は何か。 ・今日の授業全体はどうだったのか。		
	次の時間の課題（今日の授業の自分から次の授業の自分に想いをつなげよう！） 今日の授業の目標で実現できなかったことを踏まえ、次の時間にがんばることを考えましょう。		
KUSUDA のチェック			

* 自己評価の付け方 ◎＝授業内容が理解でき、十分に満足した演奏ができた！ ○＝興味関心があり、その内容項目もできた。 △＝興味関心はある、がまだできない。 ×＝あまり関心や意欲がなく、できない。